

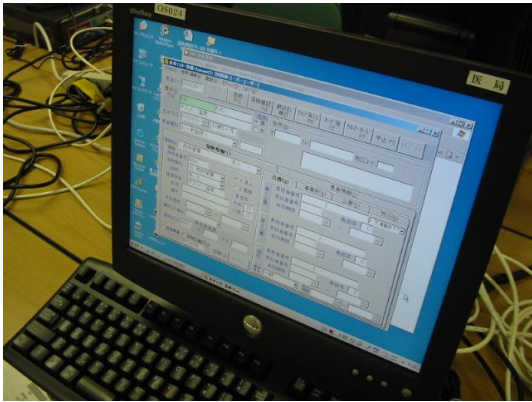
温泉病院だより④

発行：医療法人 協和会 協立温泉病院
 編集：協立温泉病院 広報委員会
 医療法人協和会
協立温泉病院
 Kyoritu Onsen Hospital
 川西市平野1丁目39番1号
 ホームページアドレス
 WWW.kyowakai.com

温泉病院は今年六月より
**「新オーダーリングシステム」の
 導入**を実現します。

新オーダーリングシステムの導入

協立温泉病院は、今年八月開院二十周年を迎えます。昭和五十八年開院以来、使用してきました「AS400」オーダーリングシステムを廃止、六月より新システムが、導入されます。近年の、IT（情報技術）の進歩は目覚ましいものがあります。新システムでは、従来事務職員を中心とした入力方法から、医師による入力を中心としたシステムに変わります。これは、厚生労働省が近年推進しています電子カルテ指向のシステムでも有りませんでした。新システムの導入にあたって、昨年末から準備を進めてまいりました。三月に入ってから、新システムによる業務のあり方を、各部署で計画を練り、連日メーカーの技術担当者との協議を重ねています。四月からは、全職員が実際のパソコン画面で入力練習に取り組めます。



一階南病棟紹介

私達一階南病棟は、平成十二年介護保険施行と同時に、介護保険対応医療施設としてスタートしました。病床数三十八床、スタッフは、看護介護職員含め二十一人で編成されています。病棟には病状が安定した患者様がいらつしやいます。私達は患者様の日常生活の援助を中心にケアを行ってまいります。例えば毎日のお着替えのお手伝いや手や足を洗う、ひげ剃り、爪切り耳掃除等、排泄援助も含め患者様に喜んで頂ける様にと頑張っています。そして週に二回の入浴介助も行っています。又病棟には食堂もあり殆どの患者様が一緒に食事を取られています。患者様にとって最良の状態を獲得、維持して頂く為に日々取り組んでいます。その一つに「歌体操」があります。これは四季折々の音楽や懐かしい音楽を取り入れ、歌に合わせて手足を動かして頂く方法です。音楽は、心身をリラックスさせる効果があると同時に、集団心理も働き知らず知らずのうちに関節運動が出来るというものです。今後も硬縮予防運動として継続して行きたいと考えています。

一階南病棟 職員一同



病院理念

愛と信頼で築く医療

基本姿勢

私たちは、**こころがふれあう温かい医療**を提供いたします。
 私たちは、**患者様の選択に基づく医療**に努めます。
 私たちは、**専門知識の修得と技能向上**に励みます。

看護部の理念

豊かな心 心の看護

看護部の方針

私達には、患者様に看護職者としての専門技術、知識を駆使した**質の高い看護**を提供する使命があります。
 患者様との信頼関係を築き、**人間性を尊重**すると共に関係部署、地域との連携を深め**安心と満足**を提供する事ができる医療チームの一員としての役割を果たします。

「患者様の権利」に関する宣言

- 平等で適切な医療を受ける権利**
患者様には、差別される事なく適切な医療を受ける権利があります。
- 自己決定の権利**
患者様には、十分な説明のもと医療行為を選択・拒否する権利があります。
- 情報を知る権利**
患者様には、医療に関する情報を知る権利があります。
- 秘密保持を得る権利**
患者様には、医療従事者が知り得た全てのプライバシーを守られる権利があります。
- 尊厳を得る権利**
患者様には、いかなる時にも尊厳をもって扱われる権利があります。

接遇委員会活動の紹介

協立温泉病院の接遇委員会は、平成四年四月に「医療人としての全職員のモラルを高め、医療サービスをより充実させるために接遇改善を推進し、その成果を最大限に上げる」ことを目的に発足しました。

主な活動内容を紹介しますと、職員教育としては「常に患者様の立場に立つ」という意識を高めるために、全体朝礼で、事例をもとに接遇対応のワンポイントレッスンを行っています。

平成十四年度は入院患者様、外来患者様に対するアンケート調査を行いました。患者様に病院に対する評価をして頂くことは、良い評価は今後の励みになり、悪い評価は貴重なご意見として今後の患者サービスの改善に役立てることができました。高齢の患者様が多い当院におきましては、ハード面のサービスを増して「心が触れ合う温かい人的サービス」の提供に接遇委員会として今後も努力して行きたいと思えます。

接遇委員会

委員長 廣岡 栄子



全体朝礼時のワンポイントレッスンの様子

五階北病棟紹介

私達の病棟は、主に痴呆症状のある方が入院されております。

- 病棟目標は、
- 一・転倒・転落事故の防止
- 二・日常生活の活性化
- 三・諸々の感染防止

に努めること等でありました。昨年からは私達は、抑制を廃止し歩行介助をする。ベッドから降りかけると車椅子で散歩をするなどして転倒・転落防止に努めております。

ぬり絵、貼り絵、魚つりやボーリング等を実施し、時には、ボランテニアの皆様の協力による、ハーモニカやアコーディオンの演奏、日舞等を催し「日本一」と大きな声がかかる等日常生活の活性化に努力をしております。又口腔ケアの充実、手洗いの励行を実践し感染防止に努めています。その他に、トイレ誘導を積極的に行い排泄訓練にも取り組んでいます。

私達は、日常生活援助をより積極的に取り組み、患者様の笑顔あふれる病棟へと日夜努力しております。

五階北病棟

課長 渡邊 清子



よりよい診療をうけるために

当院では、患者さま参加型の医療を目指しております。受診される方と病院の両者がお互いに尊敬し、協力し合うことが良質の医療につながると考えますのでご協力をお願いいたします。

- 受診される方は、ご自分の健康状態について正確な情報をお伝え下さい。
- 病気の診断、治療などについて疑問な点は、遠慮なくお尋ね下さい。
- 治療や処置は十分な説明を受け、納得の上でお臨み下さい。
- 患者さまの人権、プライバシーは守られております。玄関ロビーや各フロアの「宣言」にも掲げておりますのでご覧下さい。
- 患者さま、御家族さまも医療行為の確認者になって下さい。
- 病気に関して、他院医師の意見をお聞きになりたい場合は、遠慮なくご相談下さい。
- 疑問や御不満な点は遠慮なくスタッフにお知らせ下さい。
- 病院内の「ご意見箱」などを利用してご意見をお寄せ下さい。

【編集後記】

当院をご利用頂いております、患者様及びご家族様並びに地域にお住まいの皆様は協立温泉病院を知って頂きたいと思ひ、温泉病院だよりを、年三回発行しております。今回は、「新オーダーリングシステムの導入」について、一面に掲載しました。

シリーズ特集として、病棟紹介を一面に、委員会活動報告として「接遇委員会」の活動状況を二面に「病院理念」・「患者様の権利」・「看護部の理念」を一面に「よりよい診療をうけるために」を二面に、それぞれ掲載し「温泉病院だより」第四号を発行いたしました。

なお、本紙につきましてご感想・ご要望等ご意見をお寄せ下さい。次号、編集業務の参考とさせていただきます。

平成十五年三月 編集長

ご意見箱

協立温泉病院では、病院ご利用の皆様へのサービス向上の目的で「ご意見箱」を各階に設けています。患者様及びご家族様の、ご意見・ご要望を遠慮なくお聞かせ下さい。平成14年11月1日から平成15年2月末までにお寄せ頂きましたご意見の一部を、ご紹介させていただきます。

ご意見 その一

1月30日から二階252号室でお世話になっております患者の家族です。お世話になっております皆様方に一言お礼を申し上げたくペンを執りました。特に主治医の先生にはお忙しい中、再三にわたり懇切ていねいな病状説明や治療方針のご相談に接し、心から厚くお礼申し上げます。入院時点での看護課長様や担当看護師さんからのご挨拶や枕頭台の「かけはし」ノートのシステムを含め、広義のインホームドコンセントにもメールを送らせて戴きます。

お答え

お褒めの言葉を頂戴し、恐縮いたします。今後共、スタッフ一同患者様が、快適な療養生活が送れますようより一層努力いたします。

ご意見 その二

【三階南掃除の件】1患者より最近、昼食の時に掃除に来るが、せめて1時よりお願いしたいと思います。向様の都合も有ろうが落ち着いて食事が出来ません。それに、掃除も悪い、ゴミをベッドの奥の方に入れてきたない。私語が多く、患者の悪い事を耳にする最近です。どうかならぬか。

お答え

清掃時間は、お食事時間帯をはずすように調整していますが、何かの手違いでご不快な思いをお掛けした事誠に申し訳ございません。さっそく、清掃業者の責任者に注意しておきました。

【貴重なご意見、誠にありがとうございました。】